

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

10月	午前 ①10:00～ ②11:15～	午後 ③13:15～ ④14:30～
1 水	東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町)	復興を支える 人の繋がり (富岡町)
2 木	原発事故が学校にもたらしたもの (南相馬市)	東日本大震災—あの日から14年が過ぎて (南相馬市)
3 金	生きのびるために (双葉町)	長い避難生活を支えた励ましの数々 (富岡町)
4 土	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市) ※①②ともに研修室で実施します	双葉の子どもたち (双葉町) ※③は1階エントランスホールにて実施します
5 日	ふるさとで暮らす (大熊町)	震災・避難・現在の歩み (富岡町)
6 月	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
7 火	休 館 日	
8 水	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)	復興を支える 人の繋がり (富岡町)
9 木	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市)	震災・原発事故を語る (双葉町)
10 金	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～ (双葉町)	役場職員 震災直後の7日間 (浪江町)
11 土	10:00～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 11:15～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)	13:15～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 14:30～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)
12 日	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市)	自分の命を守る (いわき市)
13 月	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	震災・原発事故を語る (双葉町)
14 火	休 館 日	
15 水	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～ (南相馬市)
16 木	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市)	「当たり前」はない (大熊町)
17 金	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)
18 土	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)	変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町)
19 日	当時11歳にとつての東日本大震災 (富岡町)	自分の命を守る (いわき市)
20 月	震災発生から全町避難を振り返って (富岡町)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
21 火	休 館 日	
22 水	紙芝居で伝えたいこと (浪江町)	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
23 木	震災紙芝居 (浪江町)	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)
24 金	あの日からの震災から学んだこと (富岡町)	役場職員 震災直後の7日間 (浪江町)
25 土	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	震災・原発事故を語る (双葉町)
26 日	紙芝居『菜の花物語』 (南相馬市)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)
27 月	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	東日本大震災—あの日から14年が過ぎて (南相馬市)
28 火	休 館 日	
29 水	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～ (南相馬市)
30 木	置き去りにされた動物 (浪江町)	震災経験とその後の活動 (南相馬市)
31 金	震災時の体験と伝えたいこと (大熊町)	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市)

※タイトル横の () 内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2025/10/6現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。